
歩美の気持ち

奈津美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歩美の気持ち

【Zコード】

Z9674A

【作者名】

奈津美

【あらすじ】

これは「ライバルは中学生！？」の番外編です。「ライバルは中学生！？」を読んだほうがいいかと。

(前書き)

恭美は一番苦しみだと思ったので。

ねえ、コナン君。

あなたが新一さんじゃなければよかつたのに。

そうすれば・・・歩美は

「ナン君をずっと好きでいられたのに。

どうして・・・?

。 。 。 + + 。 。 。 。 + + 。 。 。 + + 。 。 。 + + 。 。 。 + + 。 。 。 + + 。 。 。 + +

八月

とても天気のよい日だった。

今日、歩美は学校に来ていた。

なぜかと云ふと、ウサギの飼育担当だからだ。

歩美は、光彦と一緒に

ウサギ小屋の掃除をしていた。

「歩美ちゃん、疲れませんか?」

「…………」

「歩美けやん？」

「えつ？ な、なに？ 光彦君っ。」

「…………今、誰の」と考へてたんですか？」

「や、それは…………」

「ナン君だよ。

新一 やんは今でも一緒にサッカーしてくれる。

優しいし、楽しいよ。

けど、「ナン君じゃない。

新一 やんだもん…………。

ミーハーミーン

セリの声がうるさこほど聞こえる。

二人の間に沈黙が流れた。

歩美はボーっと立ち须くしていた。

「ナン君。

この存在が必要で

とても大切。

それはみんなが言える」と。

「歩美ちゃん？」

「『めん、先帰つて。』

「だつて、まだ終つてないですよ？」

「一人にして・・・。」

「は・・・はい。」

光彦はウサギ小屋から出た。

歩美をチラッと見てから

その場を去つた。

「『めんね・・・光彦君。』

歩美は・・・強くないもん。

光彦君や元太君は・・・強いよ。

「・・・。」

手なんか動かない。

なにをすればいいのか分からない。

誰を好きになつたらいいのか分からない。

分からない・・・。

助けて・・・コナン君。

ポツポツ

「あつ・・・・・。」

突然の雨。

歩美はウサギ小屋から出た。

さつきまで晴れていたので

傘なんて持つてる訳も無い。

「・・・冷たい。」

雨が冷たいのは当たり前だが

今日の雨は特別冷たい・・・。

そんな気がしたの。

「・・・・・。」

涙が出そう・・・・・。

泣いやだめ。

もう、泣かない。

泣いても・・・コナン君は戻って来ないもの。

「・・・・・。」

スッ

さつきまで無かつたの

後ろに影があつた。

歩美は後ろを振り返る。

「・・・風邪、引きますよ?」

「光彦君・・・・・。」

帰つたはずの光彦が自分に傘を差してくれていた。

「帰りましょ。」

「う・・・うん。」

これが恋になるかは分からぬ。

けど、いつか新しい恋を見つけたい。

新一さんに紹介するの。

『歩美が一番目に好きになつた人だよ。』

一番目は・・・あの人。

もう、いなけれど

あの時の時間は大切にしたい。

元太君、光彦君、哀ちゃん、コナン君。

そして、博士。

この五人と過ごした日々。

歩美は忘れないよ。

『歩美ちゃん?』

『えつ、なに?』

『・・・今、誰のこと考えてたんですか?』

「みんなのことだよー。」

「 もうですか。」

光彦君は笑つた。

歩美も笑つた。

雨はいつの間にかやんでいた。

空には綺麗な虹が出ていた。

「 綺麗・・・。」

まるで、あの楽しかった日々のよひ・・・。

そして、これから何があるか分からない。

けど、もう泣かない。

けど、つらい時もあると想ひ。

そんな時に

優しく抱きしめてくれる人がいつか見つかるよね。

過去はもう変えられないのだから

未来を創つていひ・・・。

「 歩美ちゃん、どうしたんですか？」

「・・・なんでもないっ！」

ps. 今、幸せだよ・・・新一さん。

(後書き)

奈津美です。

新連載はもう少しお待ち下さい。

ストックがたくさんになつたら投稿します。

なんかこの小説はあまり好きになれません。
歩美はこんなこと思うのだろうか^ ^ ;

なんか暗いですよね。

しかも、元太でてないし w w

評価下さい。

お願いします w w

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9674a/>

歩美の気持ち

2010年10月26日13時38分発行